

# 感謝のことばに赤面



## 市・業者・市民の協力で

### 清潔で明るく田舎

「ふるさと。それは人間のやさしい心を生み出す源泉なのです。子供の頃の清らかな川の流れ……。夏の陽ざしに輝やくせせらぎ……」

それらの思い出の中の一枚のネガが「ふるさと」ではないでしょうか。しかし、その川が年々汚されてゆくとしたら、私たちはなんと貴重な財産を失うことでしょうか。

「毎日出るゴミをどうすればよいのか。川に流すなどいっても毎日出るゴミを置いておくわけにもゆかず、流すしかなさうないではないか」。痛烈な市民の声に応えるべく、市はゴミ問題にとりくみはじめました。

#### 決められた紙袋で

これまでと違って、市民は指定の袋を十円で買い、決められた集積場所へ持っていかなければなりません。これについて市民の中には、税金を納めているのだから当然市が袋代を全額負担すべきではないかと、ゴミ処理は市の仕事だから業者委託をしないで、市が直接一軒一軒まわってやるべきではないかという声があるようです。

が。

▼紙袋は一枚十三円かかりますが市の方でも財政難の中から一枚につき三円の補助金を出しています。またステーション方式・業者委託の問題については清掃区域がほぼ市の全域にわたっていますので、市でやるとなると、職員も車も増さなければなりません。

市がゴミ問題に取りくむとき、先進地域の方法を研究した結果、全国的に一番進んだ方法が紙袋・ステーション方式・業者委託の方法であったわけです。

▼雨の日には袋が濡れて底が抜けることがあります。もつと丈夫にならないのでしょうか。

▼それとヒモが短かいという意見があります。ヒモが短かくて、しつかり括つてなかつたため収集業者の方が仕事にゴミをかぶつたということですか。

▼袋を丈夫にする、あるいはもつと大きくするとしますと、現在十円の袋代がより高くなります。

▼紙が薄いとこの意見も聞かれています。あくまで一般家庭から出るゴミ用で作ってあることをわかつていただきたいと思います。

▼ヒモはあまり長くとると邪魔になりますしあくまで平均値をとっています。袋の耐水性についても、使用するにあたっては各メーカーの袋を一週間水につけて耐水性の

実験を市でやりました。

▼先ほどの袋代のことにも関連するんですが、普通の米の袋ではどうしていけないのでしょうか。

▼米の袋でよいとなるとビニールの袋でも、ダンボールでもというように拡大解釈されていくので、焼却の時に問題がおきるわけです。

▼ビニールなどを燃やしますと発生する塩素ガスで焼却炉をいためるんです。ですからゴミ用には指定のものを使っていただいで米の袋なんかは不燃物用にまわしてほしいと痛切に考えるんです。

#### 紙袋には名前を

▼ゴミ袋に名前を書くことになっていますが、これは一方的なおしつけではないかという声があるようですが。

▼他の市の例を研究してみますと、他の市でもやっております。もちろんこれは強制ではなく、名前を書かなければ収集しないということはありません。

▼名前を書くのは川に流したりせず、自ら環境保全のために努力しているんだという意思表示のためであり、市ではそれに感謝をしなくてはならないという「表現」なんです。

▼市が週二回取りのゴミ処理にと

りくんで四月になるわけですがみなさんのご意見、ご感想は。▼収集がはじめられてからは、汚れていた川が随分ときれいになりました。市や業者の方には本当に感謝しています。

#### 市のPR不足も

▼そうですね。私たちは毎日の生活の中で、どうしてこうなんだろう、という疑問をいつも抱いておりました。こうして話を聞いてみますと担当者の方の苦勞も並大抵のことではないことがわかりました。しかしこうして話を聞いてはじめて疑問がとけてゆくというのは、やはり市のPRが徹底していないのではないのでしょうか。▼私もPRの不足というのは感じ

ます。広報に載っていても読まないということがあるようです。▼私の地区は山村なんです。先日集積場所をまわってみますと、こちらではやはり自分の家で焼いたり埋めたりしている関係で、ゴミ袋が二つ、三つしか集積場所に出ない所があるんです。丁度その時、収集業者の方が仕事をしています。こんな場合ほとんどは野犬だけの市でも手をやいてい

ます。広報に載っていても読まないということがあるようです。▼私の地区は山村なんです。先日集積場所をまわってみますと、こちらではやはり自分の家で焼いたり埋めたりしている関係で、ゴミ袋が二つ、三つしか集積場所に出ない所があるんです。丁度その時、収集業者の方が仕事をしています。こんな場合ほとんどは野犬だけの市でも手をやいてい

ます。広報に載っていても読まないということがあるようです。▼私の地区は山村なんです。先日集積場所をまわってみますと、こちらではやはり自分の家で焼いたり埋めたりしている関係で、ゴミ袋が二つ、三つしか集積場所に出ない所があるんです。丁度その時、収集業者の方が仕事をしています。こんな場合ほとんどは野犬だけの市でも手をやいてい

#### 市民の協力で感謝

いるんです。放し飼いは禁止されておりますので、ぜひとも飼い主の方は注意してほしいものです。野犬は県の方に捕獲人をふやすように要請して、四十八年度はふやすことを約束していましたが、まだ一人もふえていません。四十七年から県の方で不用犬を一匹百円で買って保健所に引きとってまわっていますがなかなかうまくゆきません。

▼ゴミ収集にもなって市民のみなさんにはいろんな面で大変な自由を、おかけしております。現在各地で衛生委員会を開いて市民のみなさんの意見を聞き、市の対策を述べる計画をたてています。

話された人たち

市民代表  
山崎英子(下末松) 久万和枝(稲生)  
西森律(後免) 武市澄江(大浦) 島崎宣子(岡豊)

清掃業者  
田中信次郎(田中総業) 山崎良一(南国美掃社) 山田榮(大公清掃社)

議会  
島内正雄(副議長)  
公害環境課  
田岡信雄課長、谷田豊喜課長補佐、松岡孝行係長、岩崎明雄主事

広報委員  
山本尚一、藤本茂樹、山崎俊雄、浜田弥芳、岡沢守道、岡林泰弘、田中隆夫、神田彰

▼ここでひとつ業者の方のご意見。ご要望をお聞かせねがいたいと思います。

▼今日出席して、内心、市民の方からお叱りの言葉を聞くのではなにかと思っておりましたが、かえって感謝の言葉を頂戴したりして赤面する次第です。

▼婦人の方で大変協力的な人がいて、不燃物を車に投げ上げるのを手伝ってくれました。

▼収集に取りかかった当初は、ゴミのためよりもヒドイ、これでは食べもさわらんだろうと思うくらい汚い場所がありました。

そこで市の方にお願ひしたいのは、不燃物とゴミは分けるよう指導していただきたいことです。というのは、両方一緒に埋めておられますと不燃物の埋め場所がなくなり、収集の能率が非常に落ちるんです。

▼それから、ビンやガラスの危険物はダンボールではなく、米の袋などに入れていただきたいんです。ダンボールだとゆわえないために車に投げあげるのが危険なんです。(「実は私のこの眼鏡も三つめなんです……」と苦笑しながら話される業者の方)。市と市民と業者と、三者が協力しないことにはゴミ問題は解決しません。ブリキなどもゆわえてから指定の場所に

出したいものです。

#### 事業廃棄物は一戸二円

▼家庭のゴミと事業活動にともなう出るゴミがあります。ある事業者の集積地に一般家庭がゴミを置きにきて事業者がその分まで負担している、ということがよくあります。

▼事業活動によって出てくる廃棄物の処理は、事業者の責任で処分するように市町村が指示するようになっていきましたが、全域収集の段階になって事業者にまかせるのは不親切ではないか。つまり産業の発展は市の発展につながり、事業にともない事業税も払っていることであるから、というので他の市の例も研究して、議会で条例を改正し、一袋二円で収集業者にとつてもらうことになりました。

▼また、今のお話とは反対に、事業者が袋を買いこんで、一般家庭のステーションにまとめて出すという、法の盲点をついたことをしている例もあります。

▼事業活動といつても、小さな呉服店とか、事業活動のゴミと家庭のゴミと大差ない場合もあるわけですが。先ほどの話などはよくくれれも自省、自覚してもらって清潔で明るい市をつくるために協力していただきたいものです。